

公益財団法人 服部国際奨学財団
2024年秋季服部奨学生 募集要項

1. 選考概要

採用人数 : 25名 (予定)

選考の流れ: 当財団選考委員会により、以下のとおり実施する。

【一次選考】

オンラインフォーム受付期間 : 8月26日～9月1日
郵送書類受付期間 : 8月26日～9月2日
合否メール通知 : 10月上旬予定

【最終選考】

面接日程 : 10月12日、10月13日、10月19日、10月20日
合否メール通知 : 10月下旬予定

2. 服部奨学金

2-1. 給付額

月額10万円、240万円/2年間 (返済不要)

2-2. 給付期間

2024年10月～2026年9月 (期間中に在籍する大学・大学院が定めた標準修業年限を迎えた場合、その時点で給付期間満了)

3. 応募条件

下記すべてに該当する者であること。

1. 経済的理由により学費の支弁が困難であり、奨学金による支援を必要とする者。
2. 以下の指定大学に正規生として在籍し、所属機関又はその関連施設に通学する者。

愛知教育大学、愛知県立大学、大阪大学、お茶の水女子大学、岐阜大学、京都大学、神戸大学、静岡大学、東京大学、東京外国語大学、東京科学大学、豊橋技術科学大学、名古屋大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学、奈良女子大学、一橋大学、三重大学、横浜国立大学

3. 2024年10月1日時点で、以下の年齢要件を満たす者。

学部生	四年制大学	25歳未満
	六年制大学	28歳未満
大学院生	修士課程（博士前期課程/専門職学位課程/ 五年一貫型博士課程1-2年）	32歳未満
	博士課程（博士後期課程/五年一貫型博士 課程3-5年）	38歳未満

4. 服部財団が行う公益事業（服部奨学生向けの行事）並びにその広報活動に積極的に参加する者。

5. 他の給付奨学金の受給額が合計で月額10万円を超えていない者。

4. 応募方法

4-1. オンラインフォーム

受付期間内に、オンラインフォームの指定項目を入力し、指定書類を添付して提出すること。

4-2. 郵送による提出物：推薦書

2024年10月1日時点で所属する機関の教職員等により日本語で書かれたものを提出すること。

【書類送付先】

〒467-0021 名古屋市瑞穂区檀溪通五丁目21番地2

公益財団法人服部国際奨学財団 事務局 服部奨学金願書受付係

5. 選考結果の通知方法

合否に関わらず、オンラインフォームに入力されたメールアドレス宛に通知する。

6. 注意事項

- ・審査は、服部国際奨学財団選考規程に基づき、選考委員が公平・公正に実施する。審査基準等、選考に関する一切の問い合わせには回答しない。
- ・合否を問わず、応募書類の返却はしない。
- ・応募書類上の個人情報 は 厳重に管理する。応募者の個人情報が選考以外の用途で利用されることは一切ない。
- ・問い合わせにあたっては、「応募の手引き」と、後日公開される公式ホームページ・FAQによく目を通すこと。

応募の手引き 2024年秋季服部奨学生選考

公益財団法人服部国際奨学財団は、2024年8月26日より、2024年秋季服部奨学生の応募を受け付けます。この手引きは、前掲「2024年秋季服部奨学生 募集要項」に沿って、応募に関する説明と注意点をまとめたものです。応募の際には「募集要項」と「応募の手引き」の両方によく目を通し、書類不備のないよう準備を進めてください。

公益財団法人服部国際奨学財団は、2008年11月21日に文部科学省から設立認可を得た財団法人で、その後2012年7月24日に内閣府より公益財団法人として認可を受けました。服部財団は、指定する大学に在学する大学生・大学院生に対し奨学金を給付します。

服部財団・服部奨学金の概要、服部奨学生の活動については、公式ホームページ、公式noteブログ、公式SNS (X, Instagram, Facebook)などを参照してください。

1. 選考概要

選考は毎年春と秋に行っており、これまで春季は30人～80人、秋季は10人～30人を採用しています。2024年秋季は25名の採用を予定しております。

選考は、提出された応募書類にもとづく一次選考（書類選考）と、合格者に対する最終選考（面接選考）から構成されています。当財団の選考規程に沿って、選考委員からなる選考委員会が公平・公正に審査します。辞退者の有無に関わらず、補欠採用・繰上採用はございません。

*一次選考

- 書類選考の結果は、合否に関わらず、10月上旬を目処に、応募フォームに記載されたメールアドレスへ通知します。
- 合格者には、あわせて面接日時・面接会場を通知し、面接選考への参加意思を確認いたします。通知メールに記載した期日までに返信がない場合は、所属大学に確認したうえで、選考を辞退したものとみなしますので、十分ご注意ください。

*最終選考

- 面接選考は、10月12日、10月13日、10月19日、10月20日のうち、当財団が指定した時間・会場にて、対面のみで実施します。会場地は名古屋市内となりますので、応募者は事前によくスケジュールを確認してください。
- 面接選考の結果は、合否に関わらず、10月下旬を目処に、応募フォームに記載されたメールアドレスへ通知します。

2. 服部奨学金

服部奨学金は、2008年に、優秀な留学生に対する月額10万円の奨学援助として始まり、2012年より、日本人大学生・大学院生へ支援の輪を拡大して今日に至ります。毎年150名前後の奨学生が在籍し、多数の国と地域から学生が集っています。

服部奨学金給付期間中に在籍する大学・大学院が定める標準修業年限を迎えた場合、その時点をもって給付期間は終了します。なお、給付期間満了後も、応募条件を満たす場合は、再応募を妨げません。

- ・「標準修業年限」とは、各大学・大学院が課程修了に必要なと定める標準的な年数を指します。詳細は所属機関の要領並びに規定を確認してください。不明である場合は、所属機関に問い合わせてください。

3. 応募条件

募集要項記載の条件のうち、補足の必要があるものについて説明を加えるとともに、服部奨学生として求める人物像を示します。

*第1項「経済的理由により学費の支弁が困難であり、奨学金による支援を必要とする者」

- ・世帯や応募者の収入、資産などによる制限はありませんが、家計状況及びオンラインフォームの作文から、経済的理由により学費の支弁が困難であることを判断します。たとえば、貸与奨学金の受給、授業料減免制度の利用、就労による学費の自弁、家計事情の急変、学費の支弁により生活の維持がきわめて困難となる場合などが該当します。
- ・公務員における自己啓発等休業制度の利用者など、雇用先で休職状態にあつて、学位取得後に復職する予定である場合等は、本項条件を満たしません。
- ・日本学術振興会（JSPS）及び科学技術振興機構（JST）による研究支援制度の採択者、並びに所属機関及び国立研究開発法人によって、月割して月10万円以上の給与を得ている者は、すでに相応額の支援を受けているため、応募条件を満たしません。受給期間中に上記支援制度に採択された場合、採択期間の開始日をもって服部奨学金給付を終了します。

*第2項「以下の指定大学に正規生として在籍し、所属機関又はその関連施設に通学する者」

- ・「正規生」とは指定大学に正規の学生として在学するものをいいます。非正規生にあたる「科目等履修生」「研究生」「聴講生」等は、本項条件を満たしません。
- ・「所属機関またはその関連施設に通学する者」とは、居住地から大学又は大学附属の研究機関などに日々通学する者を指します。通常はオンラインで授業に参加する場合、居住地や調査出張先を拠点する場合などは、本項条件を満たしません。

- ・応募時点で「東京工業大学」「東京医科歯科大学」に在籍する学生も、募集の対象です。

*第4項「服部財団が行う公益事業（服部奨学生向けの行事）並びにその広報活動に積極的に参加する者」

- ・服部財団の特色は、他の奨学財団に比べて、奨学生・OBOGによる交流の機会が多いことです。積極的に交流活動に参加する意思をもつ学生を求めています。

*第5項「他の給付奨学金の受給額が合計で月額10万円を超えていない者」

- ・貸与奨学金の併給については、制限はありません。
- ・隔月・半期・一括給付等の奨学金については、月割した金額を算出し、合算額を計算してください。
- ・他奨学金併給にあたり、服部奨学金の減額はいたしません。応募の際は、適宜所属機関の学生支援課・奨学金窓口にも確認するなど、本項条件に注意してください。
- ・所属機関による授業料及び入学金減免制度による支援、出張費支援、研究費支援などは奨学金とはみなさないため、本項条件の合算額に含みません。

〔服部奨学生として求める人物像〕

- ・さまざまな背景をもつ服部奨学生との交流にあたって、他者の尊厳を認め、文化と思想を尊重できる人物。
- ・今日の社会が直面している課題に対して、強い関心と問題意識を持ち、その解決に向けた学修並びに研究に取り組んでいる人物。

4. 応募方法

4-1. オンラインフォーム

*フォーム入力にあたって

- ・オンラインフォームには、応募者の所属大学・経歴、家計状況（応募者・親族等の所得、一ヶ月あたりの収支状況、他支援の有無等）、服部奨学金志望理由等を入力し、応募者本人の顔写真と、自己推薦書・成績証明書・在学証明書を添付して提出してください。
- ・応募期間内であれば、フォームの再提出を認めます。提出内容を修正したい場合は、オンラインフォームを再提出してください。再提出された場合、最新のもののみを審査書類として扱います。

- オンラインフォームの入力事項については、事実確認のため、面接選考の際に別途補足書類（課税所得証明書・源泉徴収票・確定申告書など）の持参を求めています。
- オンラインフォームの入力事項を含むすべての応募書類について、偽造ならびに故意の遺漏を含む虚偽の記載、服部奨学金規程に反する不正受給等の行為が発覚した場合、奨学金給付開始後であっても遡及して奨学生資格を喪失し、奨学金の返済を求めます。
- 願書など、長文の作成にあたっては、テキストエディタなどで事前に下書きをしたうえで入力することを推奨しています。

*顔写真

- 本人確認資料として利用します。
- 応募フォーム送信日より1ヶ月以内に撮影した、応募者本人と分かる顔写真の画像ファイル（JPEG, JPG）を、縦横比4:3、ファイルサイズ10MB以下でアップロードしてください。

*自己推薦書

- 服部財団ホームページよりA4サイズ1枚の様式をダウンロードし、手書きで作成したものをPDFに変換し、オンラインフォームから提出してください。
- 適宜画像・図表を活用し、創意工夫して作成してください。願書の記述と重複するもの、単に業績を羅列したものではなく、願書に記述できなかった自身の強みや活動、人柄、ビジョンなどを伝えるための、自己PRシートとして作成するものです。ただし、ファイルサイズが10MB以下となるように注意してください。
- スタイラスペン・タッチペンを用いて作成したものも、手書きとして認めています。

*成績証明書

- 転学・進学等によって、所属大学で最新の成績証明書を発行できない場合、前所属機関の発行する最も新しい成績証明書を提出してください。
- 2024年秋期入学者であり、同年春期において大学・大学院に所属していなかった場合、直前に所属していた機関で発行された最も新しい成績証明書（※高等学校の場合は調査書）を提出してください。

*翻訳文・翻訳証明書

- 留学生等で、日本語又は英語以外の言語で発行された成績証明書を提出する場合、翻訳文と翻訳証明書の提出が必要です。

- ・翻訳文とは、当該の成績証明書が発行された機関によって作成されたものを指します。同様に、翻訳証明書とは、その翻訳に誤りが無いことを証明するものであり、当該の成績証明書が発行された機関によって作成されたものを指します。応募者本人などによって作成されたものは認められません。

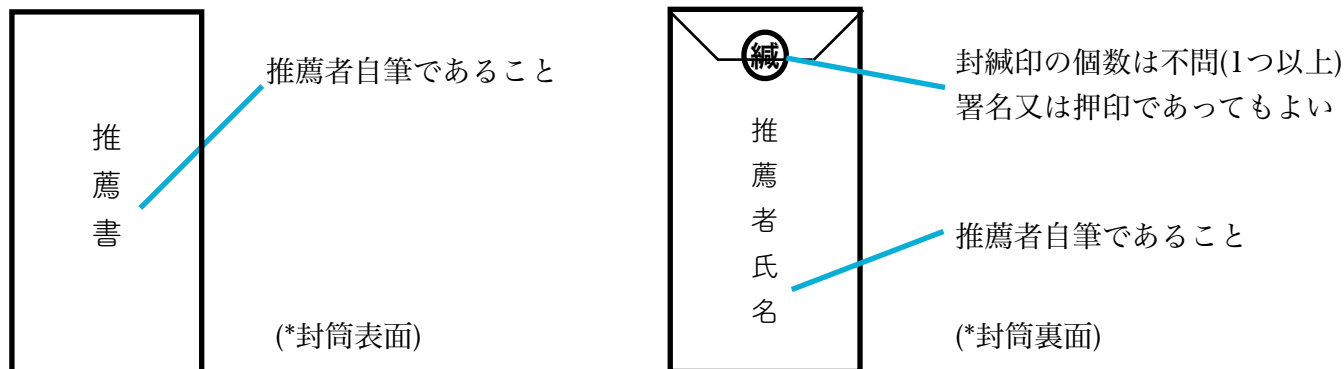
* 在学証明書

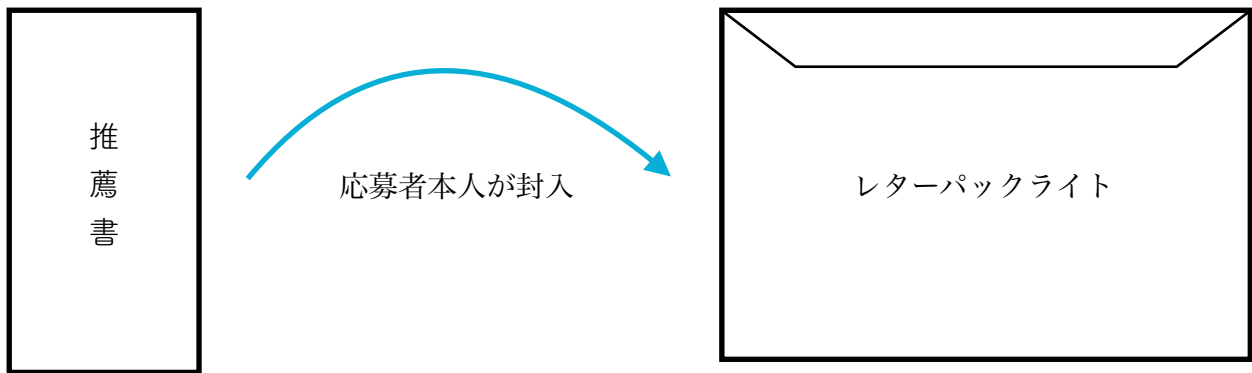
- ・応募フォームに記載された所属・学年に相違ないか確認します。
- ・2024年10月1日より所属が「東京科学大学」となる者については、東京工業大学及び東京医科歯科大学の在学証明書を提出してください。
- ・転入学・進学等により、応募期間内に在学証明書が発行できない場合は、在学証明書の提出を免除します。ただし、書類審査に合格し、面接選考参加時に在学証明書を持参してください。

4-2. 郵送による提出物：推薦書

* 郵送時の注意

- ・消印のないものは受け付けません。
- ・郵送による提出物は、**9月2日必着**です。受付期間外に届いたものは審査対象外となります。
- ・直接の持ち込みは受け付けておりません。郵便事情により到着に日数がかかることがあるため、余裕をもって準備してください。
- ・書類の受理に関する問い合わせは一切受け付けません。レターパックライトの「ご依頼主様保管用シール」を活用し、追跡を利用してください。
- ・推薦者によって任意の封筒に封入され、封筒表紙に「推薦書」と記入がなされており、推薦者の封緘印又は署名・押印によって「厳封」されたものを、**推薦者ではなく応募者自身が**レターパックライトに封入し、郵送してください。以下に示す要領を参考にしてください。





5. 選考結果の通知

オンラインフォームに記入されたメールアドレスに、@hattori-zaidan.or.jp ドメイン から通知します。

*応募に係るお問い合わせ

- お問い合わせは、公式ホームページ「お問い合わせフォーム」より受付します。回答までに数日要することがありますので、ご了承ください。
- 電話でのお問い合わせには回答いたしかねます。あらかじめご承知おきください。
- 公式ホームページ「FAQ」では、よくある質問をQ&A形式で随時掲載します。こちらもあわせてご確認ください。